



令和8年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和8年2月13日

上場会社名 フジプレアム株式会社
コード番号 4237 URL <https://www.fujipream.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部 部長 (氏名) 三村崇裕

TEL 079-266-6161

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	5,787	30.8	68		53		73	
7年3月期第3四半期	8,366	17.9	71	89.2	98	86.1	184	62.7

(注) 包括利益 8年3月期第3四半期 49百万円 (70.5%) 7年3月期第3四半期 168百万円 (67.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	2.59	
7年3月期第3四半期	6.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第3四半期	15,349	9,895	64.5
7年3月期	15,963	10,016	62.7

(参考) 自己資本 8年3月期第3四半期 9,895百万円 7年3月期 10,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期		0.00		6.00	6.00
8年3月期		0.00			
8年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,464	20.3	9		4	98.0	0	99.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

8年3月期3Q	29,786,400 株	7年3月期	29,786,400 株
---------	--------------	-------	--------------

期末自己株式数

8年3月期3Q	1,211,561 株	7年3月期	1,211,561 株
---------	-------------	-------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

8年3月期3Q	28,574,839 株	7年3月期3Q	28,574,839 株
---------	--------------	---------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の長期化や円安基調の影響を受けつつも、全体としては緩やかな回復基調が続きました。輸出関連や一部製造業において収益改善の動きが見られたものの、人手不足の深刻化や原材料費・エネルギーコストの高止まりが収益を圧迫する状況が継続しました。海外経済においては、米国景気は底堅く推移した一方で、中国経済の回復の遅れや欧州景気の停滞が続きました。地政学的リスクも相まって、世界経済の先行きに対する不透明感は依然として高い状況が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、引き続き独自の精密貼合技術を核とした高付加価値製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりました。車載・エレクトロニクス分野においては、電気製品・部品を中心に最終需要の回復が鈍く、顧客の発注姿勢は引き続き慎重なものとなりました。需要の回復遅れの影響を受け、受注環境は改善に至らず、当該分野の業績は厳しい状況が継続しました。F A関連、工作機械、エンジニアリング分野では、国内の設備投資意欲が一部回復する動きが見られたものの、中国をはじめとする一部地域での経済の減速が重荷となり、全体としては力強さを欠く状況が続きました。こうした状況を踏まえ、当社グループは生産効率の改善とコスト構造の見直しを継続して進め、収益性向上に向けた取組みを行ってまいりました。その結果、一部に改善の兆しが見られるものの、採算の改善や新規案件の創出については依然として道半ばであり、先行きは予断を許さない状況にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高5,787百万円（前年同期比30.8%減）、営業損失68百万円（前年同期は71百万円の営業利益）、経常損失53百万円（前年同期は98百万円の経常利益）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円（前年同期は184百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

国内外のディスプレイ及びタッチパネル市場では、最終需要の回復が鈍く、顧客の発注姿勢は引き続き慎重な状況が続きました。タブレットやP C向け高性能モジュールについても、需要の立ち上がりは限定的にとどまりました。また、車載用途においては、当社グループが対象とする分野での採用拡大は緩やかであり、海外メーカーを含む競争環境の厳しさが受注面に影響を及ぼしました。このような環境の中、当社グループは精密貼合技術の高度化や、先端設備及び新素材を活用した高付加価値製品の開発に引き続き取り組んでまいりました。しかしながら、売上水準の回復には至らず、当該部門の業績は第2四半期同様、損益面で厳しい状況となりました。市場環境の本格的な回復には、なお時間を要すると見込んでおり、当面は慎重な事業運営が続くと考えております。

この結果、売上高3,640百万円（前年同期比38.5%減）、営業損失68百万円（前年同期は13百万円の営業利益）となりました。

環境住空間及びエンジニアリング部門

国内太陽電池市場においては、従来型パネル分野を中心に海外メーカーとの競争が引き続き激しく、事業環境は厳しい状況が続きました。当社グループでは、従来製品のコスト最適化や建材一体型太陽電池の生産体制強化に継続して取り組みました。また、将来を見据えた次世代型太陽電池、特にペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた研究開発を推進してまいりました。エンジニアリング部門においては、国内の設備投資環境に一部持ち直しの動きが見られたものの、顧客の投資判断は引き続き慎重であり、受注環境は力強さを欠く状況が続きました。当社グループでは、アジア新興国を含めた海外販売体制の整備を進めておりますが、足元では地域や分野によって装置需要に差が見られました。これらの影響により、装置販売は引き続き低調な水準に留まりました。

この結果、売上高2,147百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益0百万円（同98.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円の減少となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の増加63百万円があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少372百万円があったことによるものであります。固定資産は8,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の増加10百万円があったものの、建物の減少186百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は15,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ614百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加365百万円があったものの、短期借入金の減少

570百万円、製品保証引当金の減少54百万円があったことによるものであります。固定負債は1,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の増加2百万円があったものの、長期借入金の減少213百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は5,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ492百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加123百万円があったものの、利益剰余金の減少245百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.5%（前連結会計年度末は62.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和7年5月15日に発表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,212,977	4,156,867
受取手形、売掛金及び契約資産	2,497,742	2,125,037
商品及び製品	7,957	9,452
仕掛品	393,442	320,960
原材料及び貯蔵品	266,698	330,317
その他	69,437	194,136
貸倒引当金	△290,302	△283,102
流動資産合計	7,157,953	6,853,668
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,371,405	3,184,623
土地	3,161,138	3,161,138
建設仮勘定	194,509	176,431
その他（純額）	858,248	737,462
有形固定資産合計	7,585,302	7,259,656
無形固定資産		
その他	55,667	55,131
無形固定資産合計	55,667	55,131
投資その他の資産		
投資有価証券	998,838	1,009,374
退職給付に係る資産	11,852	13,860
その他	156,818	160,603
貸倒引当金	△2,662	△2,662
投資その他の資産合計	1,164,846	1,181,176
固定資産合計	8,805,816	8,495,963
資産合計	15,963,770	15,349,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	666,619	662,493
短期借入金	2,650,000	2,080,000
1年内償還予定の社債	32,000	18,000
1年内返済予定の長期借入金	763,880	1,129,096
未払法人税等	37,436	26,082
賞与引当金	32,306	9,669
製品保証引当金	69,768	15,368
その他	293,668	240,754
流動負債合計	4,545,678	4,181,463
固定負債		
長期借入金	1,095,067	881,320
退職給付に係る負債	49,225	51,633
その他	256,871	340,017
固定負債合計	1,401,163	1,272,970
負債合計	5,946,841	5,454,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,519,077	2,519,077
利益剰余金	6,308,952	6,063,525
自己株式	△863,930	△863,930
株主資本合計	9,964,108	9,718,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,820	176,517
その他の包括利益累計額合計	52,820	176,517
純資産合計	10,016,928	9,895,198
負債純資産合計	15,963,770	15,349,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	8,366,479	5,787,428
売上原価	7,382,436	4,901,739
売上総利益	984,042	885,688
販売費及び一般管理費	912,329	954,318
営業利益又は営業損失(△)	71,713	△68,630
営業外収益		
受取利息	4,344	5,373
受取配当金	13,824	16,818
為替差益	3,759	3,716
固定資産賃貸料	9,856	10,743
その他	12,824	7,834
営業外収益合計	44,609	44,487
営業外費用		
支払利息	14,587	23,601
その他	3,026	5,603
営業外費用合計	17,613	29,204
経常利益又は経常損失(△)	98,709	△53,347
特別利益		
固定資産売却益	1,272	31,498
債務免除益	240,013	—
特別利益合計	241,285	31,498
特別損失		
固定資産売却損	3,899	1,236
特別損失合計	3,899	1,236
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	336,095	△23,085
法人税、住民税及び事業税	22,722	24,784
法人税等調整額	127,997	26,108
法人税等合計	150,719	50,892
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,375	△73,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	812	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	184,563	△73,978

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,375	△73,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,568	123,696
その他の包括利益合計	△16,568	123,696
四半期包括利益	168,807	49,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,995	49,718
非支配株主に係る四半期包括利益	812	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,921,105	2,445,373	8,366,479	—	8,366,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,310	103	2,413	△2,413	—
計	5,923,416	2,445,476	8,368,892	△2,413	8,366,479
セグメント利益	13,761	48,762	62,524	9,189	71,713

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,640,341	2,147,086	5,787,428	—	5,787,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	12,384	13,784	△13,784	—
計	3,641,741	2,159,471	5,801,212	△13,784	5,787,428
セグメント利益又は損 失(△)	△68,652	719	△67,933	△697	△68,630

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	380,980千円	368,583千円